

これからの時代に思いを馳せる

牧野直子

災害頻発の時代に

昨年は大阪北部地震や台風21号の直撃、西日本豪雨など多くの災害に見舞われ、日常生活が脅かされる事態に直面しました。水や電気がない生活を強いられた方も多いことでしょう。今や私たちは電気がなければ電話一つかけられないほど電気に囲まれた生活をしていることに今さらながら気づかされました。自分が被災して初めて分かったことがあります。そういう体験が今後想像力を働かせることに役立つことでしょう。

一口に自然災害といいますが、本当に自然災害と言い切れるのでしょうか？今後も地球温暖化現象による異常気象が続くことが予想されます。20年以上前からCO2削減が叫ばれており、やっと昨年12月にポーランドで開催されたCOP24(第24回気候変動枠組条約締約国会議)でパリ協定の実現が約束されました。しかしもはや温暖化をストップさせることは難しい状況です。将来的にその影響を最小限に抑える努力が求められることでしょう。万一に備えての準備とともに私たち一人一人が生活を根底から見直すことが求められます。

今、沖縄に思いを馳せる

また昨年12月14日、ついに辺野古の海に基地建設のために土砂投入が強行されました。知事選で辺野古への基地建設反対の民意が示されたにも関わらず、そして2月に住民投票が行われるのを待たずにです。民主主義がないがしろにされたことについては決して沖縄の問題ではなく、私たち国民一人一人の問題です。そのことに異議を申し立てなくてはなりません。自分の地域に起こっていたら黙ってはおれないでしょう。現在も土砂投入が続けられていると思うと心が痛みます。選挙や住民投票を通して私たちの民意が反映されるまっとうな社会を目指したいものです。

これからの「結みのお」に必要なものは？

2000年に介護保険制度がスタートし、地方分権一括法ができたときには「これから地方の時代が来る」と期待し、地方議会の役割が大事になると考えていました。その後「これからの公共政策は市民力がないと持たない」と思い、議員活動から市民活動に足場を移し、「結みのお」を立ち上げました。この10年の歩みを振り返り、その中で出会った多くの方々と共に育ってきたことを実感しています。



2018年度の「結みのお」の活動として「結サロン」を通して「歴史の学び直し」をしてきました。戦争がなぜ泥沼化したのか。日本はなぜアメリカの顔色ばかりを気にしているのか。憲法がどのようにして作られたか。学校では教えられなかったことを今こそ知りたいと好奇心を掻き立てられます。「ワンコインde旅気分」では未知の土地や暮らしに対する興味を駆り立てられます。また恒例の「結コンサート」では感動を分かち合ってきました。

仲間と共に分かち合い、育ち合える場があることは信頼関係を育むうえでとても大切なことだと思っています。10周年を迎える「結みのお」がこれからどうあればいいのかが、想像力を膨らませて共に考えていただければうれしいです。

10周年記念 総会&交流会

日時：2月16日(土) 10時 開場

場所：箕面文化・交流センター 8階

参加費：500円

10:30~11:30 総会

11:45~13:00 食事&カフェ

(12:30~13:00 ギターデュオライブ演奏)

13:00~13:30 この10年を映像で振り返る

13:30~14:00 くじ引き・挨拶

